

授業科目等の概要

衛生専門課程：美容学科															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			関係法規・制度	社会における法の役割、法と政治の関係、法の種類及び衛生法規について学び、美容師が社会で働くためには、法制度に従って働くことが必要であり、かつまた、美容師という仕事も法制度によって社会に位置づけられていることを理解する。	2通	30	1	○			○		○	
2	○			衛生管理	公衆衛生、環境衛生の意義と目的を美容師の業務と関連付けながら具体的に理解し、なおかつ、感染症予防、美容器具などの消毒方法を美容業務の衛生性を担保する上で最も重要な技術であることを具体的に理解する。	1後 2通	90	3	○			○		○	
3	○			保健	美容技術の基礎となる人体組織、特に皮膚及び毛髪などの皮膚付属器官の構造と機能に関する科学的、系統的な知識の習得を目的とする。	1後 2通	90	3	○			○		○	
4	○			香粧品化学	物理・化学の基本原理解について理解とその応用能力が、美容師にとって極めて重要な意義を持つことを理解し、美容器具や香粧品の合理的な取扱方法に習熟する。また、美容器具や香粧品による危害を防止するための使用上の注意を学ぶ。	2通	60	2	○			○		○	
5	○			文化論	さまざまな髪型・化粧・服装のトータルファッションの歴史を学ぶことで流行のメカニズムを知り、時代を読み、芸術的な表現力と観察力を養い、確かな技術力、感性を身につける。併せてファッションの造形色彩の原理などを学ぶことにより感性を高めていく目的とする。	1通 2通	60	2	○			○		○	○
6	○			美容技術理論	美容の基礎的な理論と技術についての知識を衛生的、能率的に実践する態度と習慣を身につけると同時に美容器具・薬品・薬剤の正しい知識をもち、使用方法についても習熟する。又、個々の技術習得はそれぞれ理論と動作を並行して具体的に履修し、より効果的に習得する。	1通 2通	150	5	○			○		○	
7	○			運営管理	経営管理の基本的事項を学習し、美容業における経営管理手法の重要性を認識し、美容所の経営に役立てる。また、適切な接客態度の重要性を自覚させるとともに消費者対応の基本を学び、実践する能力を身につける。	1後 2通	30	1	○			○		○	

8	○		美容実習	美容技術の基礎的な操作を理論との連携を図りながら確実に身に付け完成度の高い技術を、日々の反復練習で習得する。衛生管理の重要性、消毒等の適切な実施方法、薬剤や化粧品の使用方法を習得する事を目的とする。	1通 2通	900	30			○	○	○	○
9	○		美容総合技術	社会人・専門的技術者としての自覚を養い、習得した基礎的な知識や技術を更に高度に確実に実施できる能力を身につけ、それを応用し新たな技術を生み出す為の総合的能力を習得することを目的とする。	1通 2通	540	18			○	○	○	○
10	○		コミュニケーション	社会人としての自覚を養い、習得した基礎知識や技術を確実に実施できる能力を身につけることを目的とする。	1後 2前	30	1	○		△	○	○	○
11	○		美容福祉	講義で社会福祉学を学ぶのみならず、実際に福祉現場で、美容ボランティア活動に参加する事により、支援が必要な人々に接する体験をする。また、社会福祉における美容技術等の役割を体験する事により、将来、すべての人に対し、その社会に貢献できる人材を育てることを目的とする。	1後	30	1	○			○		○
合計						11	科目	67 単位（単位時間）					

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：	学科の教育課程に定められた必修科目のうち、卒業学年度までに履修しなければならない科目を修得した者。	1 学年の学期区分	2 期
履修方法：	単位修得制	1 学期の授業期間	15 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。